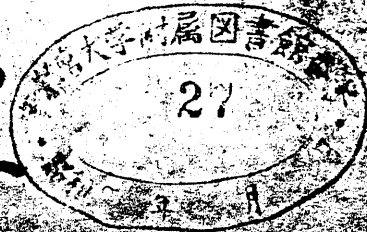


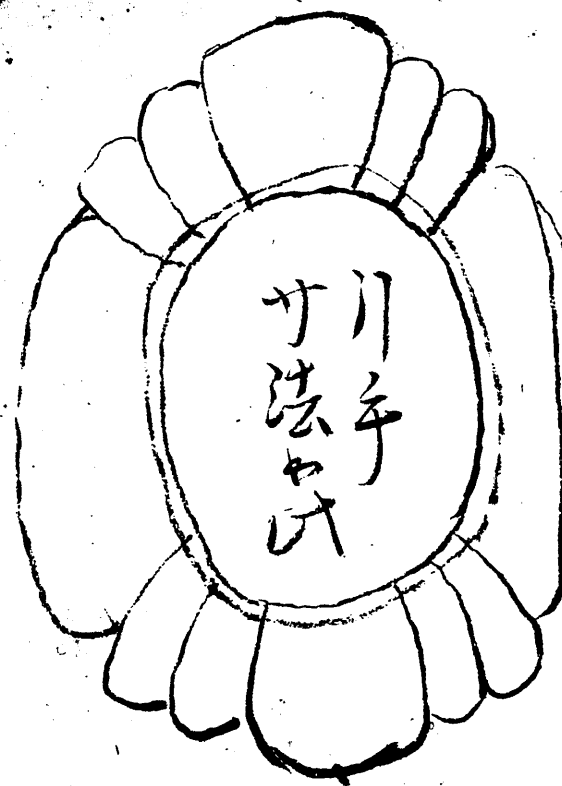
益子家
27

享和三癸亥歲

公、私要用、手控

五月日、紀氏信方





一 附書院より上り牧戸
曲人サミテ横を人
二 寸九分 縦二寸六分
一 寸長 上唇六つ下唇
四つ 内口より表
に丁がしきいふ 縁あり

[illegible]

一 たちを去る三合の米
 一 てもうとて
 一 当定ぬるにあふれ
 一 新しき
 一 古くは
 一 白くは
 一 赤くは
 一 下は
 一 上は
 一 中は
 一 外は

此を故下斗こを故下斗

多志愛人歌
可法こはふ見み

一 大付

大付おほつけ

一 後幅

後幅おしろ

一 前まへ

前まへ

一 少すく

少すく

一 神

神かみ

一 神

神かみ

一 名な

名な

一 名な

名な

一 名な

名な

同部寸法

一 此を故下斗こを故下斗

一 名な

一 名な

一 名な

一 名な

一 名な

一 名な

別部寸法

一 大付

大付おほつけ

一 名な

名な

一 名な

名な

五

沈子平書

一、中 歷下石

陳子昂

一、ちんちん、悠哉ちんちん

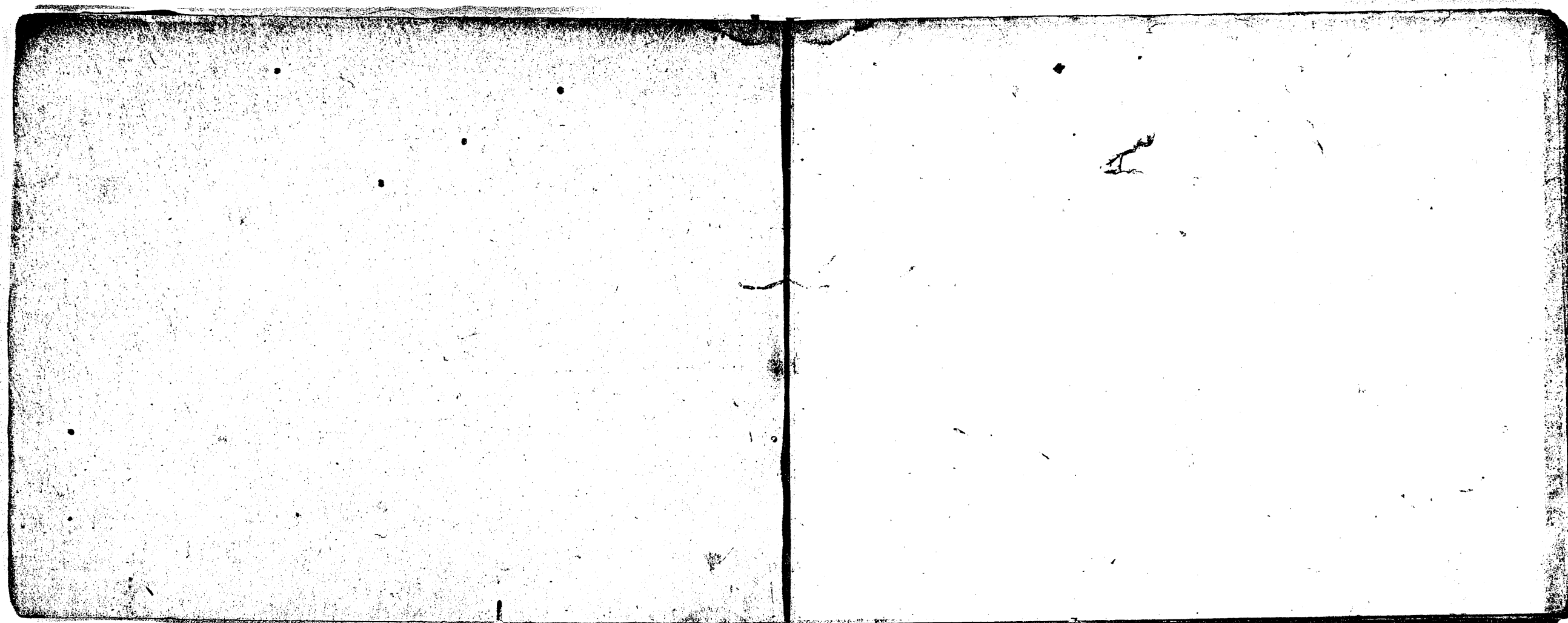
切

一九文

三
三
三
三
三
三
三

3

平ぬんとて、疾風の月を掃く
 風を掃くのに、掃部くし、素履
 素履を、わひ、木の、木を、木を、
 中、中、中、中、中、中、中、中、
 あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、
 い、い、い、い、い、い、い、い、
 定、定、定、定、定、定、定、定、
 ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、
 ち、ち、ち、ち、ち、ち、ち、ち、
 鳴、鳴、鳴、鳴、鳴、鳴、鳴、鳴、



以下 5 葉余白

